

2007 11/27 火曜日  
平成19年

北日本新聞ホームページ <http://www.kdntanippon.co.jp> 購読申し込み [0120\(88\)3746](tel:0120883746)

発行所 北日本新聞社 〒930-0094  
富山市安住町2-14  
☎076(445)3300 (受付案内)

©北日本新聞社 2007

以下で **土地探し&家づくり**

株式会社さくら <http://www.sakura-inc.net>

# 防げ！デートDV

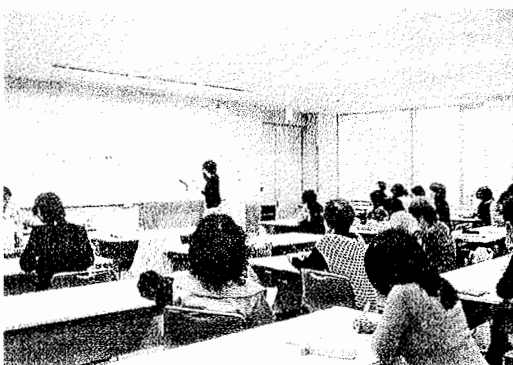
## 県内啓発活動に重点

若者の間に広がるデートDV(ドメスティックバイオレンス)。被害を未然に防ごうと、県内で新たな動きが始まっている。富山市のNPO法人は防止に向けて指導者を養成する講座を今月からスタートし、来月には県が県内の高校、短大でワークショップを開く。将来の夫婦間のDV、児童虐待を防ぐ上でも、若いうちから意識を高めようという取り組みを急ぐ。

デートDVは親密な未<sup>い</sup>いとみられる。同センターの男女間で繰り返される暴力。殴る、けるなど身体的暴力をはじめ、性的暴力、怒鳴ったり、友達に悪意を伝えるなど、人関係を制限する精神的暴力、金を無心する経済的暴力などがある。

### 男女半数が被害

内閣府のインターネット調査では、交際経験のある十一世代の未婚男女の半数近くが何らかの被害を受けたと答えた。県女性相談センターへのデートDVに関する相談は平成十八年度九件、本年度は十月までで九件だが、潜在的な被害は多



DV防止に向けてNPO法人が開いた指導者養成講座—県総合福祉会館



と、県は先月、デートDVに関する専門部会を設けて対策を協議。県女性

## 出前ワークショップも

財団に委託し、来月には県内の高校二校と短大一校でワークショップを開き、啓発や事例の収集、アンケート調査を実施し、効果的な啓発教材の作成などにつなげる計画だ。

民間ではNPO法人ハッピーウィマンプロジェクト(富山市、小林涼子理事長)が今月十一日、県総合福祉会館でデートDV防止に向けた指導者養成講座を開講。約三十人が参加し、民間団体アウエア(東京)が実施しているデートDV防止プログラムを体験した。

### 相手を尊重

プログラムではデートDVとは何かを伝え、偏った女らしさ、男らしさの意識などの気付きを促し、相手を尊重する大切さなどを学んでいく。参加者は実際の場面を想定して男女の役割を演じながら、理解を深めていった。

同法人は講座を計三回開き、その後は高校などでの出前ワークショップを行いたい考えだ。小林晶子副理事長は「出前ワ

orkshopなどを通意識を高めていきたいし、人は対等であり、差と話している。別はいけないという人権(今川克代社会部記者)